放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2020年 3月9日

事業所名:放課後等デイサービス ひばり (スタッフ4名:横路・高田・藤本・林)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関 係で適切である	4		2階の療育室以外に、少人数で学習を 行うための別部屋を用意し行っていま す。	
	2	職員の配置数は適切である	4			指導員の配置数は適切ですが、更に補 助員を付け見守りのサポートを行ってい ます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	2	2		1階はバリアフリーで車いすの対応になっています。 2階は階段に手すりがありますが、バリアフリー化はしておりませんので身体のお子さんは対象外となっています。
	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		各児の半年ごと(または必要時)の振り 返りを指導員全員で実施し、意見を出し 合っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			昨年度より実施しています。
業務改善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	4			昨年度よりホームページによる公開を実施しています。 保護者の方へは文章にて配布しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	4		改めては行っていませんが、モニタリン グ時など事業所の評価を聞くようにして います。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	4		地域で行われている研修には積極的に 各自が参加しています。 資格の更新のための研修も参加してい ます。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	4		客観的に分析し、ニーズだけではなく生活環境に配慮しながら作成するようにしています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	3	1	特に決められた専用のツールを使用していませんが、実際に子どもさんの行動 観察や面談を行い、各検査結果等も参 考に状況を把握しています。	今後、標準となるツールを導入していき たいです。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		立案を指導員が行い、活動計画やルール作成を子どもたち自身で話し合って行えるように工夫し行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		その時のニーズに沿った内容にしたり、 季節に合わせた行事を入れたり、個別と グループともに必要に応じて更新してい ます。	
適切な	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	4		平日、土曜日、長期休暇と個別でプログラムを使い分けるようにしています。 土曜日、長期休暇を中心に課外活動を行っています。	
支援の提	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4		子ども同士の相性や特性、学年等も配慮し、組み合わせたグループ活動を行っています。	
供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	4			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	4		共有するだけではなく、お互いが改善すべき点や次回行いたい支援について話し合い、記録にも記載し、次の支援に繋がるようにしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	4			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	4			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			下校時刻の時間変更等の連絡が無い 場合があり、困ることもあるので保護者 からの変更連絡を確実にもらえるように したいです。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4	医療的ケア児等支援者養成研修の受 講は済ませています。	医療的ケア児の受け入れを現在行って いません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	児発事業所や、担当の相談支援専門員 から必要な情報をいただき申し送りを受 けています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	4		移行会議とは別で個別に申し送りを行う 会議を開催してもらっています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	4			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	1		ひばりの活動内では特に課題として行っていませんが、児童クラブや、習い事を 併用している子供さんは多いです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	4		柳井圏域の児童に関わる事業所同士の 集会が定期的に行われるようになり、参 加し情報交換や共有を行っています。	今年度から柳井の自立支援会議への事 業所参加は無くなっています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		連絡ノートへのお互いの記載、LINEでの やりとり、送迎時など、保護者の方と気 軽に連絡がやり取りできるように設定し ています。 毎月、各児童保護者へ個別の報告書を 書きお渡しています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	4		ペアトレは行っていませんが、必要とする保護者に対しては個別に話を聞き、指導を行っています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		随時、相談を受け支援に繋げています。 月1回(土曜日)にオープンカフェも実施 し、相談しやすい場作りを行い利用して いただいてます。	
<i>1</i> 0	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	3	1	地域の親の会(柳井市・平生町・田布施町)の活動や子供たちと一緒に行うボランティア活動(アスール)に参加し連携作りの支援を行っています。	
保護者への	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	4			
説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	4		毎月、予定表に記載し配布しています。 詳しい内容は連絡ノートやLINEで個別または全体でお知らせしています。 また、ホームページでも掲載しています。	
	35	個人情報に十分注意している	4			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4		開設当時から、月1回定期的に「ゆるり カフェ」を開催し、地域の方が自由に入 れるようにしています。行事等がある時 は地域宅に回覧板を回しお知らせをして います。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、職員や保護 者に周知している	4			保護者用の緊急時対応マニュアルを制作(自宅保管用)し配布していますが、 あまり周知されていないようです。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	4			生活介護事業所と合同で行っていますが不定期となっている為、周知されていませんでした。次年度からひばり単独で定期的に行い保護者の方へも連絡を入れる予定です。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	4		毎年必ず虐待研修に参加し、職員間で 周知させています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1		該当者がいないので実施しておりませんが、今後対象児がいれば説明し、記載いたします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている	4		契約時に、アレルギーに関する調査書をいただいています。 対象児に対しては保護者に相談し提供するおやつや、外食の時に配慮を行っています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有している	4			